

あぶくま通信

Vol. 5

令和4年度総会報告

3年ぶりの

総会・懇親会
を令和4年10
月21日(金)の
17時より「ホ
テルグランド
ヒル市ヶ谷」
にて32名の参
加のもと開催
致しました。



【総会】

○安藤会長より、令和4年度総会は
コロナの感染状況がやや落ち着いて
きたタイミングを見て、かつ感染症
防止策を取りながら実施に踏み切っ
たことの説明と、そうしたコロナ下
でご出席くださった皆様への謝辞が
述べられました。

○来賓の福島県東京事務所所長細川
了様よりご挨拶を頂き、その中で、
福島県は東日本大震災後も幾度か地

震災害や豪雨被害に見舞われてきた
が、県、各市町村、そして県民の皆
様の懸命な努力により、JR只見線
の復旧をはじめ、交通インフラや生
活環境の整備が着実に進んでいるこ
とのご報告がありました。

○議事は、各担当役員より「令和3
年度会計報告」「同監査報告」「令和
4年度活動経過報告」がなされ、全
員の拍手をもって承認されました。

【懇親会】

○当会顧問で東京福島県人会会長の
安斎隆氏に乾杯のご発声を頂きました。
氏はご挨拶の中で地球の気候変
動現象に触れられ、我々の孫の時代
にも住み続けることが出来る地球を
残すために、我々は省エネなど少し
の不便は我慢する必要があることな
どを説かれました。

○アトラクションは新田晃也様(伊
達市出身、芸能福島県人会幹事長)
にご出演を頂きました。

持ち歌の「母のサクラ」や古閑
裕而作曲の「イヨマンテの夜」など
数曲が披露され、会場はその美声と
音量に魅了されました。(以上)

なお、今年度総会は、10月18日
(水)開催予定です。(5頁参照)

母県ニュース

福島県農業経営・

就農支援センター開所

令和4年度に、本県で新たに就農
された方は、野菜や果樹など園芸作
物を中心に若い世代が伸び、過去最
多となる334名を記録いたしました。
これは多くの方が、本県での就
農に魅力を感じていただいた結果で
あるといえます。

こうした流れをより確かなものと
するため、就農準備から就農後の定
着、経営発展まで一貫した支援を行
う「福島県農業支援・就農支援セン
ター」が4月3日に福島市の県自治
会館内に開所しました。このセンタ



センター開所式

ーは、
県と3
つの農
業団体
の職員
が常駐
する総
合相談
窓口で

あり、就農を希望する方や、現在農
業を営んでおられる皆さんからの相
談をワンストップでお受けする「福
島ならではの」体制となっておりま
す。就農を希望されている方には、
準備段階や就農時のサポートだけで
なく、その後の経営安定化から経営
発展まで、必要な支援を継続的行
っていくとともに、地域農業を担っ
ておられる皆さんからの相談に対し
ても、経営改善や法人化、経営の継
承など、専門知識を持ったスタッフ
が丁寧に対応いたします。

本県には、地域ごとに異なる豊か
な自然環境があり、果樹や野菜、花
きなど、それぞれの地域で様々な作
物を生産することができます。

現在、農業に興味があり、どこで
始めようかと迷われている方は、是
非、本県での就農を御検討いただけ
ればと思います。センターのスタッ
フが一丸となって、皆さんの就農を
応援させていただきます。

・センター設置場所 県自治会館1階
(福島市中町8-2)

相談時間・8時30分～17時15分(平日)

電話 024・521・8676

「以上、福島県・県民広聴室提供」

『我がまち』紹介

今回は、県中の浅川町、石川町、平田村をご紹介します。

⑪ 浅川町

浅川町は、福島県中通り南部に位置し、美しくのどかな田園風景が広がる自然が豊かな小さな町です。

毎年8月16日に開催される、町の一大イベントである「浅川の花火」



大地雷火

は、その起源を江戸時代まで遡ることができ、福島県内最古の歴史を持つ花火と言われている。名物の「大地雷火」は町を一望できる城山山頂で直接炸裂させる花火で

す。扇を広げたように開く花火は大迫力で、城山が噴火したようにも見えます。町民の多くは、この「浅川の花火」を長年にわたり伝承・継続している町を、「花火の里あさかわ」として誇りに感じています。

また、町小貫地区の貫秀寺薬師堂には、県内唯一の即身仏「弘智法



城山から望む田園風景

印宥貞」が安置されています。全国に即身仏は現在20数体ありますが、弘智法印宥貞は疫病治療祈願のために薬師入定したと

されており、そのような例は他にないと言われています。ぜひ「花火の里あさかわ」にお越しになって、まちの伝統や歴史、文化に触れてみてはいかがでしょうか。

⑫ 石川町

石川町は、中通り南部に位置する、阿武隈地域の豊かな緑と清らかな水の流れが育む、美しい自然に囲まれた町です。町の名物は、「いしかわ桜谷」として親しまれている桜並木。川沿いの二千本を超える桜が、春を彩ります。開花時期には「いしかわ



いしかわ桜谷

桜谷スプリングフェスタ」が開催され、県内外から訪れる観桜客で最も賑わう季節となっております。

す。また、町内には「母畑・石川温泉郷」と呼ばれる温泉地が点在しています。東北でも有数のラジウム温泉で、「三日浸れば大抵の病は治る」と古くから言われています。



母畑温泉・八幡屋

と。町の中心部にある、通称「鈴木重謙屋敷」は、そのゆかりの史跡であり、運動で活躍した明治時代初期の大庄屋の屋敷を再現した建物は、一見の価値があります。

石川町で、歴史と自然を感じながら、ゆったりとした時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

⑬ 平田村

標高450m〜500mの高原に位置する平田村は、ゆったりと横たわる蓬田岳や芝山、十石山などに囲まれた人口約5000人の美しい山里です。

蓬田岳の山麓にひろがる「ジュピアランドひらた」は春には蓬田岳の



ジュピアランドひらた

咲き競う村一番の観光名所であり、平田村のシンボルです。

農畜産業の発信地である「道の駅ひらた」では高原の気候と豊かな自然を活かして栽培された特産の高原野菜をはじめ、村内の農家さんの取り組みをきっかけに始まった村内で栽培されたハバナロを使った激辛商品の開発などを行う「日本一辛い村プロジェクト」など村の魅力発信に取



紅葉の山鶏滝

り組んでいます。

本村は美しい自然環境を活かした文化と産業が培われ、それぞれ新たな発展を目指しています。

地域の活力と魅力あふれる平田村に是非お越しください！

芸能関係紹介コーナー

芸能福島県人会会員紹介・その5

今回は、ソプラノ歌手の遠藤優子さんとピアノニストの長瀬賢弘さんをご紹介します。

◇ 遠藤優子さん

二本松市(旧安達町)出身のソプラノ歌手。東京藝術大学卒業、同大学院修了。第49回日本音楽コンクール第1位。オーストラリア、ドイツ、イタリアにて研修。



日唄文化協会奨励賞受賞。横浜音楽

文化協会会員。二期会会員。

「優子のサロン」と題した親しみやすいクラシックコンサートの開催を長年続けており、次回は6月11日(日)に横浜みなとみらいホール小ホールで開催される。午後1時半開演、同1時開場。チケットは全席自由席で一般3000円、小中学生1500円。予約・問い合わせは、メール

yuko6769@gmail.com まで。

◇ 長瀬賢弘さん

いわき市出身のピアニスト。東京藝術大学音楽学部附属高等学校を首席で卒業。同大学音楽学部を経て、同大学院修士課程を首席で卒業。第



23回ピティナピアノコンペティションG級金賞受賞、併せて東京都知事賞、ヒノキ賞受賞。第74回日本音楽コンク

ール第2位、岩谷賞(聴衆賞)受賞。第20回イタリア・カラブリア国際ピアノコンクール第3位。他、数々のコンクールで優勝や入賞を果たす。2006年より2011年まで渡露、モスクワ音楽院にて研鑽を積む。2014年、東京藝術大学にて博士号を取得。これまで、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団等とピアノ協奏曲を協演。

提供・芸能福島県人会事務局

(福島民報社東京支社内)

コラム

阿武隈川と私

阿武隈川はその源から太平洋に注ぐ河口まで、市街地とつかず離れず流れている。

記憶の初めは白河。小峰城の外堀となつている金勝寺辺りが、町に最も近くて川遊びの場でもあった。

尤もその頃は、パルプ工場の排水でまっ茶色の流れ。川底を掘って合



阿武隈川の風景・本宮市内

流する澄んだ水を引き込み、プールみたいになっており、兄の背中に乗って泳いだ気分。小3の夏、本宮。かつての水害から町側だけに、城壁の様な堤防が築かれてい

た。腕白たちは忍者の如く登って遊ぶ。飽きれば川遊び、亀の子岩から飛び込み、浅瀬を向こう岸に行き来していた。

転校して間もない私は、地元の子をまねて渡りだした。足首くらいであつたが、足を滑らせ、アツという間に深みに。亀の子岩辺りでもがいていると、誰かに助けられた。

近所の人に聞いて回つたが、誰かのままであつた。命の恩人に感謝。それ以前それ以後も金づち。

中2の夏、梁川。川はゆったりと広く大河風に。悪ガキ仲間で野山を走り回り、盛りの桃を失敬。ポケット代わりにシャツの胸元に、桃の産毛がチクチク、罰が当たって、農家さんごめんさい。

帰りの近道に川を泳ぐ友を横目に、とぼとぼ歩く桃の里。未だに金づちの私でした。

伴 竹夫 (伊達市出身)

各市町村のイベント等

令和5年5月中旬～9月下旬

【地元開催イベント予定】

◇白河市

☆白河関まつり市民納涼花火大会

8月5日(土)予定

場所 城山公園

問い合わせ 白河まつり振興会

0248・22・1147

◇玉川村

問い合わせ 産業振興課

0247・57・4629

☆春の福島空港まつり

5月13日(土)

場所 福島空港

☆玉川夏祭り・花火大会

8月13日(土)

場所 たまかわ文化体育館駐車場

◇西郷村

☆にしごう祭り

8月26日(土)9時～18時

場所 ニューファクトリーゾーン

(三菱製紙白河事業所敷地内公園)

問い合わせ

にしごう祭り実行委員会事務局

0248・25・1116

☆西の郷クロスカントリー大会

8月26日(土)9時～18時

場所 国立那須甲子青少年自然の家

問い合わせ 大会実行委員会事務局

0248・25・2371

◇平田村

・問い合わせ 企画商工課

0247・55・3115

☆ジュピアランドひらた

芝桜まつり

開催中・5月14日(日)まで

場所 「ジュピアランドひらた」

平田村大字蓬田新田字蓬田岳

☆ジュピアランドひらた

世界のおじさいまつり

6月中旬～7月下旬(予定)

場所 「ジュピアランドひらた」

◇浅川町

☆花火の里浅川 ロードレース大会

6月25日(日)

場所 浅川町役場前スタート

問い合わせ 大会事務局

0247・36・2134

☆浅川の火花

8月16日(水)

場所 浅川町民グラウンド

問い合わせ 企画商工課

0247・36・2815

◇石川町

☆いしかわサイクルフェス2023

7月中旬

場所 山橋地区・浅川町特設コース

問い合わせ 企画商工課

0247・26・9113

☆石川きらら夏まつり

8月(予定)

場所 モトガツコ(予定)

問い合わせ 石川町商工会

0247・26・3211

◇泉崎村

☆田植え体験

5月20日(土)

場所 泉崎村内

問い合わせ 産業経済課

0248・53・2430

◇郡山市

☆サマーフェスタ IN KORIYAMA

7月下旬

場所 郡山駅前

問い合わせ

サマーフェスタ実行委員会

024・921・2621

☆郡山うねめまつり

8月3(木)～5日(土)

場所 まつり 郡山駅前

供養祭 山ノ井公園(片平町)

問い合わせ うねめまつり実行委員会

024・921・2621

◇本宮市

☆フラワーフェスティバル

5月27日(土)～6月4日(日)

場所 プリンズ・ウィリアムズ・パーク 英国庭園

問い合わせ 土地整備課公園緑地係

0243・24・5406

☆本宮市夏まつり

8月15日(火)・16日(水)

場所 本宮市中心市街地

問い合わせ 本宮市夏祭り運営委員会

0243・33・2541

◇二本松市

☆クマガイソウ祭り

5月上旬～下旬

場所 戸沢柏久保「クマガイソウ園」

問い合わせ

二本松市東和支所地域振興課

0243・66・2490

【地元開催イベント予定】**続き**

◇福島市

問い合わせ電話番号はいずれも
024・525・3720

☆ふくしま花火大会

7月29日(土) 予備日 7月30日
場所 信夫ヶ丘緑地

☆福島わらじまつり

本祭り 8月4日(金)〜5日(土)
大わらじ奉納 8月6日(日)
場所 信夫通り(国道13号)ほか

◇国見町

☆国見町義経まつり

9月23日(金・祝日)
場所 藤田商店街
問い合わせ 企画調整課
024・585・2967

【中通り地方市町村の

首都圏開催イベント予定】

☆白河市 行田蓮まつり 出店

内容 白河市ブースを出展予定
7月上旬(予定)
場所 行田市・古代蓮の里
問い合わせ 白河市観光課
0248・22・1111(代表)

☆棚倉町「三ツ池公園(文化・環境

フェスティバル」出店

内容・棚倉町の物産品等の販売
5月20日(土)9時30分〜
場所 横浜市鶴見区三ツ池公園内
問い合わせ 地域創生課
0247・33・7886

☆泉崎村

「東北移住&つながり大相談会

7月23日(日)
場所 東京交通会館12階
問い合わせ 泉崎村産業経済課
0248・53・2430

☆本宮市

せたがや区民まつり 出店

内容 本宮市の物産品販売
8月5日(土)〜6日(日)
場所 東京都世田谷区若林公園ほか
問い合わせ 産業部商工観光課
0243・24・5382

☆二本松市 地場産品フェア in 新宿

8月29日(火)〜30日(水)
場所 新宿駅西口
イベントコーナー
問い合わせ 産業部商工課
0243・55・5120

「ミデッテ」だより

皆様いかがお過ごしでしょうか。
日本橋ふくしま館ミデッテは、本年
4月12日で開館9周年を迎えまし
た。福島を応援いただいている皆様
に改めて感謝申し上げます。

さて、今回は、旬の果物のご紹介
です。福島県は、恵まれた気候風土
で多種多様な果物が実る「フルーツ



あかつき

王国」で
す。特に、
中通りの
県北地域
は福島を
代表する
桃の産地
となつて
います。
これか

ら果物が美味しい季節となり、時期
により収穫される品種が異なります
が、さくらんぼは6月から7月上旬
頃、桃は7月から9月頃が旬となり
ます。秋にも、梨やぶどう、りんご
など様々な旬の果物を味わうことが
できます。



シャインマスカット

催事コーナーでは地元産品や観
光をPRす
る催事も随
時行われて
おります。
皆様も是非
日本橋ふく
しま館を
「ミデッテ」
くださいね。

【お問い合わせ】

日本橋ふくしま館MIDETTE
TEL 03・6262・3977

会からのご連絡

☆令和5年度総会開催の件

今年度の「福島県中通り会総会」
を以下の通り開催致します。

- ・日時 10月18日(水) 17時30分〜
- ・場所 法曹会館(千代田区霞が関)
- ・アトラクションは、本宮市出身の
アコーステック・ギター奏者ダニ
エル・コフリンさんを予定。

9月になりましたら案内状を差し
上げますので、是非ご出席を頂き
たく、宜しくお願い致します。

福島が『全国1位』
なものでってナニ？

「福島県公式ホームページ」の企画調整部・統計課の頁の「小学生から知って欲しい！統計の話」から、「都道府県ランキング！福島県は何位？」〜家計調査〜の頁を開くと、農産物の収穫量や食品の支出金額等の全国ランキングが表示されます。

以下は、そのデータを基にした『福島が全国一なもの』のご紹介です。

◆先ず、1世帯(2人以上)当たりの支出金額が1番なものから。

(資料出所・1. 都道府県庁所在市に政令指定都市を加えた都市を対象とした「家計調査」結果。)

・生鮮果物の支出金額
45,954円(令和2〜4年平均)



福島盆地は、季節に応じてサクランボ、桃、梨、ブドウ、林檎など、いろいろな果物がとれますので、福島市の皆さんは、日常新鮮な果物を沢山食べているでしょう。山形市に僅差ながら、全国1位でした。

因みに、福島市は、「福島県くだ

もの消費拡大委員会」を設置し、果物の消費拡大に努めています。

・桃の支出金額
7,256円(令和2〜4年平均)



福島県の桃の生産量は全国で2位ですが、消費支出金額は福島市が名産地の甲府市などを引き離してダントツの1位です。

・納豆の支出金額

6,786円(令和2〜4年平均)

納豆は、わらを敷いて生活していた時代に、煮豆にわらの菌が作用して偶然に出来た食品と云われています。(諸説あり。)



納豆は、古来より寒い地方の冬の貴重なたんぱく源として食されており、ランキングも1位の福島市に次いで盛岡市、山形市、水戸市など、東北・北関東の都市が上位を占めています。

・まんじゅうの支出金額

2,041円(令和2〜4年平均)

福島県のまんじゅうといえば、日本3大まんじゅう、郡山の薄皮

饅頭、が有名ですが、福島市にも、みそまんじゅう、や、けしまんじゅう、など、美味しい饅頭が沢山ありますので饅頭好きの人が多いでしょう。



なお、第2位は鳥取市でした。

◆次は、生産量が全国一なもの。

・夏秋きゅうりの収穫量

31,800t(令和3年)

(資料出所・2)

きゅうりは生産時期により冬春きゅうりと夏秋(かしゅう)きゅうりに区分されます。冬春きゅうりの産地は宮崎など暖かい地方ですが、夏秋きゅうり(7〜11月)は福島県、群馬県、北海道が主な産地です。福島県の1位は、伊達市、須賀川市の生産量によるところが大了。



・桐材の生産量
122.5m³(令和3年)

(資料出所・3)

桐材は、県内産の「会津桐」が国内生産の66%を占めています。近年は安価な輸入桐材に押さ

れて、生産量は減少の一途を辿っています。

そのため、今

、会津桐を守れ！の、再生をかけた試みが始まっています。

・新酒鑑評会での金賞受賞銘柄数

17銘柄(令和3年)

(資料出所・4)

昨年5月の「2021酒造年度・全国新酒鑑評会」で福島県は17銘柄が金賞を獲得し、9連覇を果たしました。中通り地方の金賞銘柄は、陣屋(有賀醸造)、千駒大吟醸(千駒酒造)、寿々乃井(寿々乃井酒造店)、廣戸川(松崎酒造)、東豊国(豊国酒造)、人気一(人気酒造)、奥の松(東日本酒造協業組合)の7銘柄です。以上。



「資料出所」

・資料1 総務省「家計調査」

・資料2 農林水産省「作物統計調査」

・資料3 農林水産省「特用林産物生産

統計調査」

・資料4 「福島県公式ホームページ」

県産品振興戦略課